

登録コード	A3208200	開講年度	2026				
授業科目	家畜衛生学					担当教員	竹田 謙一
英文授業名	Animal Hygiene						
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	動物資源生命科学コース、森林・環境共生学コース 2年生生命機能科学コース 3年生
講義室	農学部 1 5 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	令和 6 年度以前に入学した学生対象
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				家畜衛生学の基本概念と関連法規についての知識を修得している。		
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				家畜種に応じた衛生管理についての知識を修得している。		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				家畜衛生学の基本概念と関連法規についての知識を修得している。		
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				家畜種に応じた衛生管理についての知識を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	第1回は家畜衛生学の概念について、第2回～第10回は基本的な家畜衛生について、第11回～第15回は各種家畜の衛生学について解説します。						
(5)授業計画	4月10日を初回に6月12日まで（5月1日及び8日を除く）毎週金曜日の3・4時限に行います。 第 1回 4月10日 家畜衛生学概論：動物資源と衛生学の変遷と今後の展望 第 2回 4月10日 動物の感染症：監視伝染病を中心とした疾病と関連する法規 第 3回 4月17日 感染症の疫学：感染が成立するまでの条件と各種原因微生物 第 4回 4月17日 疾病の予防1：疾病制御の概要 第 5回 4月24日 疾病の予防2：免疫機能に関与するワクチンと母子免疫 第 6回 4月24日 疾病の予防3：衛生動物の駆除 第 7回 5月15日 環境と動物衛生1：物理・化学・生物的環境要因のストレスと生体作用 第 8回 5月15日 環境と動物衛生2：社会的要因の生体作用とストレスの概念 第 9回 5月22日 飼養衛生1：栄養・代謝障害 第10回 5月22日 飼養衛生2：植物や化学物質による中毒 第11回 5月29日 乳用牛の疾病管理1：新生子牛から乳牛までの疾病管理 第12回 5月29日 乳用牛の疾病管理2：乳房炎防除を中心とした乳生産衛生 第13回 6月 5日 肉用牛の疾病管理：肉用牛の疾病発生概要と疾病管理 第14回 6月 5日 豚の疾病管理：豚の疾病発生概要と疾病管理 第15回 6月12日 鶏の疾病管理：鶏の疾病発生概要と疾病管理、授業アンケート 第16回 6月12日 期末試験						
(6)自主学習の指針	指定参考書で予習・復習することを薦めます。また、予めe-ALPSにアップするレジュメや授業後にアップする講義資料を復習に役立てて下さい。						
(7)成績評価の基準	毎回提出を求めるレポートと期末試験により評価します。授業で示した例題と同程度の問題が解ければ「水準にある」、授業中の質問と同程度の問題が解ければ「やや上にある」、地方公務員試験の過去問題が解ければ「かなり上にある」、国家公務員試験の過去問題が解ければ「卓越している」と判断します。レポート：期末試験＝50：50の比重で評価します。レポートおよび期末試験の成績を100点満点に換算し、90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。						
(8)事前事後学習の内容	予めe-ALPSにアップするレジュメや下記に紹介する参考書を利用し、上記の授業計画に沿っての事前学習を推奨します。また、授業後にアップする講義資料を事後学習に役立てて下さい。						
(9)テストやレポートの予定	毎回講義の最後に行う小テストと6月12日の期末試験で行い、60点以上を合格とします。小テストと期末試験の評価比率は、75：25です。						
(10)成績評価の方法	提出されたレポートと期末試験により評価します。レポート：期末試験＝50：50の比重で評価します。レポートおよび期末試験の成績を100点満点に換算し90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内は口頭で、それ以外はeメールで対応します。 本授業は、平松浩二特任教授による講義です。 メールでの質問は、竹田宛に送ってください（ktakeda@shinshu-u.ac.jp）						
(12)履修上の注意	開講日に十分注意してください。 4月10日を初回に6月12日まで（5月1日及び8日を除く）毎週金曜日の3・4時限に行います。 レジュメを予めe-ALPSにアップしておきますので、各自でダウンロードして講義に臨んでください。						

(12)履修上の注意	この授業は令和8年度まで開講されますが、令和9年度以降は開講されません。
【教科書】	特に指定しませんが、e-ALPSにアップされた資料を使って予習・復習に役立ててください。
【参考書】	動物の衛生(文永堂出版)、家畜の衛生(文永堂出版)、獣医衛生学(文永堂出版)